

## 会 議 録

会議の名称	平成19年度 第5回環境審議会
開催日時	平成19年9月21日(金曜日) 14時00分から16時05分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎1階 102会議室
出席者	【委員】池田委員、今井委員、櫻井委員、渡邊委員、太田委員、忠地委員、宮川委員 【事務局】斉藤生活環境部長、篠宮産業振興課長、福島環境保全課長、大和田環境保全課長補佐、三城環境計画係主任、横山環境計画係主任
議 題	1 開会 2 あいさつ 3 重点プロジェクト4の現状と課題について 4 その他 5 閉会
会議資料の名称	資料No.1 西東京市農業振興計画 当日資料 (株)IHI田無工場土壌対策工事について、9月15日号市報 東大農場移転の方針見直し、平成17年度一般会計歳入歳出決算書(今井委員作成資料)
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>(14時00分 開会)</p> <p>櫻井会長 本日はご多忙のところお集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から第5回環境審議会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、大町委員から欠席の連絡がございました。あと、連絡はないのですが橋本委員と矢内委員は後ほどお見えになるかもしれませんので、あらかじめご報告させていただきます。</p> <p>本日は環境基本計画の見直しに関する議論ということで、重点プロジェクト4に入ります。はじめに議題に入る前にお配りしてあります資料の確認を事務局から願います。</p> <p>横山環境計画係主任 本日の資料でございますが、事前に開催通知と一緒にお配りした資料が1点ございます。本日も議論いただく重点プロジェクト4に関わってまいりますので、資料No.1「西東京市農業振興計画」がございます。続きまして本日もお配りした資料ですが、株式会社IHI田無工場土壌汚染対策工事に関するものと、東大農場移転の方針見直しに関するもの、今井委員からご提出いただきました「平成17年度一般会計歳入歳出決算書」がございますので、全てお揃いかどうかご確認いただきたいと思います。</p> <p>本日の資料は以上でございます。</p>	

櫻井会長

資料に関しての質問はございますでしょうか。なければ本題に入る前に、本日の資料として配られた株式会社IHI田無工場と東大農場について、事務局から報告してもらいたいと思います。その後、西東京市農業振興計画及び今井委員の資料に入っていきたいと思います。

福島環境保全課長

私からは、株式会社IHI田無工場跡地の土壌汚染対策工事についてご報告させていただきたいと思います。

【(株)IHI田無工場土壌対策工事関連資料に基づいて経過及び対策を報告】

今井委員

質問としまして、土壌を替えるということですが、どの範囲の土壌をを替えることになるのでしょうか。

福島環境保全課長

範囲といたしましては、資料にある色のついた部分の汚染土壌の全てを入れ替えることとなります。

今井委員

どの範囲を入れ替えるかということは、この資料図面の色が付いている部分だけを入れ替えるということでしょうか。

福島環境保全課長

はい。

渡邊委員

サンプリング法に決められていますので、それに則って実施しているということだと思います。

今井委員

この色の地点だけではなくて、サンプリングによる調査に基づいて実施しているということですね。

福島環境保全課長

絞込みをして位置を特定しています。

今井委員

同じように、地下水についても何箇所か水を採取して調査をしているのでしょうか。

福島環境保全課長

地下水につきましても調査を実施し、問題はないと確認されております。

今井委員

ちなみに、何本ぐらいの箇所を掘ったのでしょうか。

福島環境保全課長

観測用井戸として敷地境界で14箇所、敷地内で6箇所の合計20箇所掘っております。かなりの深度で調査をしておりますので間違いはないと考えております。

また住民の方が心配されていたのが、周辺に影響がないのかといった点がございました。周辺地域については、私どもがこれから調査をする予定でございます。

今井委員

汚染している所は、現工場跡のものなのか、それともIHI田無工場設立以前の工場の配置関係などを含めて考察しているのでしょうか。

福島環境保全課長

環境保全課でIHI田無工場の履歴を保管しております。その履歴に基づいて調査を行っておりますので、問題ないと理解しております。

今井委員

IHI田無工場の履歴は知っていると思いますが、それ以前の工場については、今ほど溶剤などの取扱い規制が厳しくなかった時代ですので、現状の汚染との関係から分析されているのかと思ったので伺いました。

福島環境保全課長

いずれにしても、広範囲に亘る調査から絞り込んでいったものでございますので、今、ご質問のございました件について問題ないと理解しております。

また、六価クロムやフッ素につきましても、履歴に基づいて調査しております。その主な原因につきましては、資料にございますとおり、六価クロムは表面処理工程・電解加工工程で使用していた溶液が施設の老朽化・破損等により、土壤中へ染みこんだと推定した結果が出ています。フッ素は表面処理工程で使用していた水溶液が施設の老朽化・破損等により土壤に浸透したものと推定されています。

今井委員

六価クロムとフッ素の汚染原因については、IHI田無工場の時代にあったということを行っているのでしょうか。

福島環境保全課長

広い範囲での調査結果から場所を特定し、過去の履歴に基づいた調査であると理解しております。

今井委員

IHI田無工場以前の工場配置や薬剤処理などの記録は、ほとんど残っていないだろう

と思います。繰り返しになりますが、サンプリングのメッシュが粗いので、調査に漏れないかということ、私は心配しています。

地下水調査の20箇所、その内、周囲を16箇所としていますが、周囲が4キロメートルを16箇所で割ると、約250メートル間隔で調査することになります。普通、水脈を200メートル以上の間隔でサンプリングすると、まったく違う水脈になってしまうような気がします。

齊藤生活環境部長

汚染の原因である六価クロムとフッ素については、洗剤剤として使用したものがパイプなどから染み出たものだということなので、そういったことからIHIが使用した溶剤による汚染であると断定しています。それ以外の汚染というのは検出されませんでした。

櫻井会長

いずれにしても、最終的な所有者がしっかり対応していただければ、住民は安心できるのではないかと思います。

今井委員

いろいろとありますが、問題は、以前の土地利用の経緯が定かでないものほど怪しいので、疑ってやるべきではないかということです。

福島環境保全課長

今回の調査につきましては、法律、条令に基づいて、一般的な調査以上にサンプリングを実施しておりますので、問題ないと理解しております。

櫻井会長

一つ質問ですが、この工場の周辺で井戸は使われているのでしょうか。

福島環境保全課長

飲料水として使えるかは別としまして、市では飲み水として利用しないよう指導は行っております。

櫻井会長

水道水であればきちんとした管理が可能でしょうが、問題は農村地帯でしょうね。農業では井戸の水を利用することがありますから住民が心配することがあるでしょうね。都市型農業の場合はほとんど上水道ですから人体には影響はないでしょう。ただ、川の汚染ということは考えられるでしょう。

続きまして、東大農場に議題を移します。

横山環境計画系主任

東大農場移転問題ですが、こちらの記事にもありますように、東大農場が8月7日の時点で文部科学省に中期計画の見直しを提出したという事です。

櫻井会長

市の懇談会についてはどうなっていますか。

斉藤生活環境部長

懇談会では、東大農場が移転をした場合に跡地を含めた対応をどうするかという話をしてきました。しかし、移転が中止となると、今後の懇談会のあり方を検討する段階にあると思います。

櫻井会長

中止も含めた検討ということですか。

斉藤生活環境部長

まだ情報が錯綜していますが、東大は移転しない、さらに二ノ宮の果樹園をもってきて充実強化するということが言われています。また、一部の土地は処分するということも言われています。これらの情報の確認が取れていませんが、いずれにしても東大農場が残ることについて、懇談会の意見を聞く必要があると思われる。

櫻井会長

これまでが報告でしたが、これから本題に入りたいと思います。重点プロジェクト4の現状と課題です。「身近で育てて食べられるみどり」をふやそうというタイトルです。やはり農業が中心となるのですが、市の農業振興計画と環境基本計画の重点プロジェクトとのパッケージを考えておりますので、今回はその勉強をしようと思います。それでは説明をお願いします。

篠宮産業振興課長

市街区地域の中に農地があるのが、西東京市の特徴です。現状では旧保谷地区の中町、下保谷町などに多く畑があります。田無地区には、農地より植木屋が多くなっています。小さい面積に種類豊富に育てる傾向があります。農家数は平成12年には325、19年現在293と減少しています。生産力はキャベツなど葉ものが主力です。課題としては、宅地化による農地の減少がまずあげられます。相続によって、農地の約3分の1がなくなっています。そこで、相続税対策を検討しています。また、農業の担い手の高齢化も課題のひとつで、収入の保証がないなどの問題で後継者が不足しています。さらに、耕作地があっても高齢のために収穫ができないといった問題もあります。

櫻井会長

資料を読みますと、西東京市でも農業を一生懸命やっているなど感心しました。質問ですが、専業農家というのは、農業以外やらない場合をいうのですか？それとも2割ぐらいは他の収入があるのですか？

篠宮産業振興課長

だいたい1割ぐらいです。

櫻井会長

いわゆる農業収入が大部分ということですね。

篠宮産業振興課長

市場価格が季節によって変わってくるので、農業収入があまり安定しないという問題があります。

櫻井会長

たしかに農家の収入は天候や消費者のニーズ次第で安定していませんね。計画生産できないところが産業として農業がなかなか定着しない原因の一つかなという気がします。何か他に？

今井委員

都内26市のうちで一戸あたり平均収入が多いのが東村山市で274万、西東京市が256万で第2位です。平均耕地面積が6反歩、0.6ヘクタールくらいです。これで農家を継ぐというのは大変なことです。

さきほどの専業農家という話ですが、定義がありまして、農家とは経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯または農産物販売金額が年間15万円以上の収入がある世帯をいいます。専業農家は、世帯の中に兼業農業従事者が一人もいない農家をいいます。

櫻井会長

ところで、2枚目の資料もあわせて意見交換していただきたいのですが。

今井委員

上は議会に提出している一般会計歳入歳出決算書です。下は総務省、市の財政課から発行されている普通会計で、全国的な比較のために作られたデータです。真ん中のグラフをみると、一番少ないのが農林用の歳出です。平成17年度で6200万円です。人口が増えているにも関わらず、農林用の歳出金額は微減しています。農林振興計画は平成16年3月から始まっていますが、これで農林振興ができていいのか疑問です。一番下は人口15万以上の9市での比較です。平均で商工費は4億、農林費は1億8000万です。ところが西東京市では、商工費が3億7300万ですが農林費については6200万です。歳出比率をみると西東京市は商工費が0.77%、農林費が0.11%で9市の中で最低です。それでは実際にこの予算がどのように使われているのかを見るのが、一番上の決算書です。農業費に7100万強、農業委員会に1100万、農業総務費に57%、農業振興費に2000万弱です。その内訳は農業振興対策事業に1000万、市民農園事業に500万、家族農園設置に170万、身近な生産流通推進に37万、農業市民交流に20万、担い手育成に15万です。市民一人当たりですと年間381円です。

櫻井会長

農地面積はどうなっていますか。

今井委員

西東京市では201ヘクタール、八王子市では941ヘクタールです。平均で286ヘクタールです。参考までに、夕張市では農家一戸あたりの収入が1100万円です。夕張では大型

農業ですし、耕地面積も大きいですからね。西東京市では225万円強です。東村山市は275万強でナンバーワンです。それで今度は質問なのですが、こういう振興計画をやられたわけですが、この資料からは本当に振興をしているのかと思うのですが。

篠宮産業振興課長

振興計画に基づいて事業を進めているわけですが、まずてがけたのが認定農業者です。魅力ある事業として750万円の助成金で300坪くらいのハウスを建設し、通年栽培できるようにしました。これに4件の認定農業者が協力して下さいました。また、安心・安全事業として減農薬・有機農法の助成に700万円かけました。

今井委員

西東京市にはあぐりとみらいの2つの農業団体があるわけですが、合流しないしていると新しい事業が進まないのではないのでしょうか。

櫻井会長

JAの場合は金融部門と農業部門を切り離して考えて、農業部門だけで協力する体制を作らないといけないですね。

西東京市の農家はJAの農業資材とか農薬とかかなり利用しているのですか？

篠宮産業振興課長

通常の堆肥は大量購入のほうが安いので、農家の方がよく買われます。農協は農家の皆さんの出資金でやっている団体のため、どちらかをやめてもう一方に入るとするのは難しいようです。

今井委員

現状はそうですが、今後事業を展開していくには一元化するべきではないでしょうか。それには行政が強く関わらないといけないと思います。

篠宮産業振興課長

今までの話ですと、5年を目途にみらいの方にあぐりが吸収されるようです。

先ほど農林費総額の話が出ましたが、17年度は7100万、19年度は8800万ですから約1600万の増額です。農業委員会は2150万と変わりません。農業では農業振興費と農業総務費を合わせると7500万で、約400万の増額で先ほどの魅力ある事業と安心・安全事業に使われます。

また地産地消ということで、西東京市でとれた野菜を市内で消費しようと、めぐみちゃんというキャベツのキャラクターを使ってアピールしていきます。

今井委員

私は新座や小平の販売所によく行くのですが、西東京市にも駐車場付きのそういう場所があればいいなと思っています。

櫻井会長

重点プロジェクト4の中にも地産地消と有機肥料があります。ただ、農業振興という

事ですが、市民の求めるものと農家が求めるものとの違いがあると思います。市民は安全な食べものを要求してもいるのですが、むしろ農作業に参加したいという意識があり、一方の農家は売りたいというのが要求ですね。これが都市型農業の特徴の一つかもしれないかもしれません。大きな直売所を作ったとしても農家は人手が足りないですから、直売所とは別のシステムを作らないと、なかなか農家は生産に専念できないと思います。

篠宮産業振興課長

そうですね。現在行っている援農ボランティア制度は農家の手伝いをやるというものなのですが、果樹の部門でよく活躍しています。3年前から約70名の方が、高齢農家などのお手伝いをしています。もう一つ、体験農園や市民農園などで農業体験のある人が農家に手伝いに行くケースがでていますが、こうした経験者を高齢農家へどうやって取り込んでいくかも課題だと思います。

池田委員

それは行政主導で広げられるのでしょうか。

篠宮産業振興課長

来年度から援護ボランティアを登録して、季節派遣するのようにしたいと考えています。

池田委員

それは農家からの要望が多いのですか、それとも市が主導して増やしていこうとしているのですか。

篠宮産業振興課長

教える技術が必要ですので、JAにお願いして毎年1園くらいずつ体験農園を行っています。

池田委員

今いくつぐらいあるのですか。

篠宮産業振興課長

体験農園は市に3箇所です。中町で1家族、北原で40家族、芝久保で30家族です。

池田委員

私は実際にやっている人と話をすることがあるのですが、人によって内容に差があるようですね。苗が枯れた場合、あるところでは代わりの苗をくれるが、他ではくれないというようなことです。農家が主体でやれば、内容に差ができてもしょうがないですけど、行政がからむとそうはいかないですね。市民が農業に求めることと、農家の対応には開きがあるので、行政として何ができるのかを把握するのは難しいですね。

斉藤生活環境部長

行政は農地を維持するためにその価値を広く市民に認識してもらう努力をしています。



す。したがって支援策を実施して農地を守っているのが現実です。近年、支援の形態は地産地消やイメージキャラクターのアピールなどに転換しつつあります。

櫻井会長

環境基本計画に関連して、なんとか露地栽培をふやす方法がありますか？

篠宮産業振興課長

田無庁舎では月初めの日曜日にりさいくる市を開催していますが、そこで野菜を買ってもらおうとしています。そういった形で地産地消を広げようとしています。

櫻井会長

生産部門は農家の方が専門にやって、流通部門を農家以外の方がパート等の形で担う仕組みができれば、市場調査も進んで露地ものも少しは広がるのかと思うのですが。話は変わりますが、減農薬・減化学肥料は進んでいるのですか？

篠宮産業振興課長

現在293農家中、半分まではそういった方向になっています。

櫻井会長

生ごみや剪定枝の肥料化はどうなっていますか？

篠宮産業振興課長

学校では生ごみを分けるなどしているのですが、一般の家庭の生ごみを使うのは難しいです。剪定枝についても、近隣への騒音問題などがあり実現は難しい状況です。

池田委員

そうすると、もうひとつの問題として市民の環境に対する意識教育なのでしょうね。

櫻井会長

環境基本計画でみどりをのこすためには、援農ボランティアと市民教育がカギになりますね。

今井委員

それから相続税の問題もありますね。

斉藤生活環境部長

農家側も、ものを作って売る以外に、それまでにどのような過程を経ているかをアピールしていく必要があるのかもしれませんがね。

今井委員

西東京市に何があるかといえば、5つの駅があるくらいです。もう一つ、点在する農地があって私はこれが財産だと思います。それを周辺の住民がサポートできるような社会をつくりたいと思います。

忠地委員

今回は都市農業の難しさがよくわかりました。東大農場が移転しないことになってよかったと思っています。というのは、おそらく東大農場にはいろいろなノウハウが蓄積されているはずなので、それらを行政サイドがうまく仲介しながら農業に若い方を引っ張り込んでいくということを少しずつしていったほうがいいと思いますので。農地があることが魅力だというのであれば、それに目を向けていく方法を模索したらいいと思います。

櫻井会長

時間が過ぎましたので、今日はこれで第5回の環境審議会を終了したいと思います。お疲れさまでした。

(16時05分 閉会)

以上